

## 第一部【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 最近3中間連結会計期間及び最近2連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移

|                       |     | 平成17年度<br>中間連結<br>会計期間                | 平成18年度<br>中間連結<br>会計期間                | 平成19年度<br>中間連結<br>会計期間                | 平成17年度                                | 平成18年度                                |
|-----------------------|-----|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
|                       |     | (自 平成17年<br>4月1日<br>至 平成17年<br>9月30日) | (自 平成18年<br>4月1日<br>至 平成18年<br>9月30日) | (自 平成19年<br>4月1日<br>至 平成19年<br>9月30日) | (自 平成17年<br>4月1日<br>至 平成18年<br>3月31日) | (自 平成18年<br>4月1日<br>至 平成19年<br>3月31日) |
| 連結経常収益                | 百万円 | 194,289                               | 177,303                               | 166,822                               | 386,117                               | 348,723                               |
| 連結経常利益                | 百万円 | 34,729                                | 37,555                                | 39,688                                | 66,710                                | 23,007                                |
| 連結中間純利益               | 百万円 | 51,923                                | 98,068                                | 53,196                                | —                                     | —                                     |
| 連結当期純利益               | 百万円 | —                                     | —                                     | —                                     | 92,231                                | 75,260                                |
| 連結純資産額                | 百万円 | 1,913,413                             | 1,974,242                             | 2,043,739                             | 2,010,339                             | 1,985,663                             |
| 連結総資産額                | 百万円 | 14,017,983                            | 13,335,080                            | 12,918,609                            | 13,685,943                            | 13,078,861                            |
| 1株当たり純資産額             | 円   | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     |
| 1株当たり中間純利益            | 円   | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     |
| 1株当たり当期純利益            | 円   | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>中間純利益 | 円   | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     |
| 潜在株式調整後1株当たり<br>当期純利益 | 円   | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     | —                                     |
| 自己資本比率                | %   | —                                     | 14.77                                 | 15.78                                 | —                                     | 15.14                                 |
| 連結自己資本比率<br>(国際統一基準)  | %   | 14.98                                 | 16.63                                 | 20.50                                 | 16.09                                 | 18.90                                 |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー  | 百万円 | △30,781                               | 27,328                                | 11,261                                | 18,012                                | 28,877                                |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー  | 百万円 | 29,787                                | △16,260                               | △6,010                                | △62,431                               | △19,317                               |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー  | 百万円 | △2,966                                | 47                                    | △1,320                                | 53,858                                | △1,179                                |
| 現金及び現金同等物<br>の中間期末残高  | 百万円 | 14,469                                | 38,983                                | 40,179                                | —                                     | —                                     |
| 現金及び現金同等物<br>の期末残高    | 百万円 | —                                     | —                                     | —                                     | 27,869                                | 36,250                                |
| 従業員数                  | 人   | 1,368                                 | 1,361                                 | 1,357                                 | 1,366                                 | 1,361                                 |

- (注) 1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
2. 連結純資産額および連結総資産額の算定にあたり、平成18年度中間連結会計期間から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。
3. 自己資本比率は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。
4. 連結自己資本比率は、平成18年度末から、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国際統一基準を採用しております。なお、平成18年度中間連結会計期間以前は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成5年大蔵省告示第55号に定められた算式に基づき算出しております。

(2) 当行の最近3中間会計期間及び最近2事業年度に係る主要な経営指標等の推移

| 回次                   |     | 第7期中       | 第8期中       | 第9期中       | 第7期        | 第8期        |
|----------------------|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 決算年月                 |     | 平成17年9月    | 平成18年9月    | 平成19年9月    | 平成18年3月    | 平成19年3月    |
| 経常収益                 | 百万円 | 194,272    | 174,906    | 166,622    | 385,836    | 345,758    |
| 経常利益                 | 百万円 | 34,945     | 36,674     | 34,712     | 67,261     | 21,999     |
| 中間純利益                | 百万円 | 52,145     | 97,541     | 47,959     | —          | —          |
| 当期純利益                | 百万円 | —          | —          | —          | 92,679     | 75,166     |
| 資本金                  | 百万円 | 1,215,461  | 1,272,286  | 1,272,286  | 1,272,286  | 1,272,286  |
| 発行済株式総数              | 千株  | —          | —          | —          | —          | —          |
| 純資産額                 | 百万円 | 1,913,507  | 1,969,498  | 2,040,368  | 2,010,684  | 1,981,575  |
| 総資産額                 | 百万円 | 14,013,749 | 13,314,730 | 12,915,032 | 13,682,117 | 13,073,980 |
| 預金残高                 | 百万円 | —          | —          | —          | —          | —          |
| 貸出金残高                | 百万円 | 13,266,294 | 12,485,427 | 11,800,263 | 12,873,226 | 12,146,462 |
| 有価証券残高               | 百万円 | 339,389    | 445,700    | 459,724    | 429,587    | 366,469    |
| 1株当たり配当額             | 円   | —          | —          | —          | —          | —          |
| 自己資本比率               | %   | —          | 14.79      | 15.80      | —          | 15.16      |
| 単体自己資本比率<br>(国際統一基準) | %   | 14.96      | 16.61      | 20.08      | 16.07      | 19.19      |
| 従業員数                 | 人   | 1,357      | 1,352      | 1,347      | 1,357      | 1,352      |

- (注) 1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
2. 純資産額および総資産額の算定にあたり、平成18年9月から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。
3. 自己資本比率は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。
4. 単体自己資本比率は、平成19年3月から、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国際統一基準を採用しております。
- なお、平成18年9月以前は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成5年大蔵省告示第55号に定められた算式に基づき算出しております。

## 2【事業の内容】

当中間連結会計期間において、当行グループ（当行及び当行の関係会社）が営む事業の内容については、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動については、次項「関係会社の状況」に記載の通りであります。

### 3【関係会社の状況】

当中間連結会計期間において、新たに当行の関係会社となった主な会社は次のとおりであります。

| 名称                        | 住所      | 資本金又は出資金<br>(百万円) | 主要な事業の内容   | 議決権の所有（又は被所有）割合（％） | 当行との関係内容      |      |        |        |      |
|---------------------------|---------|-------------------|------------|--------------------|---------------|------|--------|--------|------|
|                           |         |                   |            |                    | 役員の兼任等<br>(人) | 資金援助 | 営業上の取引 | 設備の賃貸借 | 業務提携 |
| (連結子会社)<br>金融サービス育成投資事業組合 | 東京都千代田区 | 17,873            | 投資事業組合の管理等 | 100.0%<br>(100.0%) | —             | —    | —      | —      | —    |

- (注) 1. 「議決権の所有（又は被所有）割合」欄の（）内は、子会社による間接所有の割合(内書き)。なお、組合形態であるため、業務執行割合を記載しております。
2. 当行及び連結子会社は、金融サービス育成投資事業組合について、100.0%の割合の出資を行っております。
3. 金融サービス育成投資事業組合は、当中間連結会計期間において新たに設立されたことに伴い、当中間連結会計期間より、連結子会社としております。

#### 4 【従業員の状況】

##### (1) 連結会社における従業員数

|         | 平成19年9月30日現在 |
|---------|--------------|
| 従業員数（人） | 1,357        |

（注）役員は従業員数には含めておりません。

##### (2) 当行の従業員数

|         | 平成19年9月30日現在 |
|---------|--------------|
| 従業員数（人） | 1,347        |

（注）役員は従業員数には含めておりません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【業績等の概要】

#### <当中間連結会計期間>

##### （金融経済環境）

当中間連結会計期間の日本経済は、輸出が堅調に増加する一方、消費等内需が伸び悩み、緩やかに減速しました。

個人消費は緩やかに増加を続けましたが、好調な企業部門から所得環境の改善への波及は引き続き弱く、総じて伸び悩みました。設備投資は、年度では引き続き増加の計画ながら一服感が強く、横ばい圏内の動きに止まりました。住宅投資は、6月の建築基準法厳格化の影響から前年を大きく下回って推移しました。公共投資は、基調として減少傾向が続きました。輸出は自動車を主体とする米国向けが水準を落としたものの、新興国をはじめとした世界経済の高い成長に支えられ堅調な増加を続け、輸入が概ね横ばいで推移する中、純輸出の成長寄与は高まりました。

金融面をみると、民間銀行貸出残高は、中小企業向けが減少に転じ、伸びは鈍化して推移しました。昨年からの米国住宅市場の調整が続く中、夏場以降、欧米金融機関を中心にサブプライム・ローン関連の運用損失が明らかとなり、株価は欧米とともに日本でも下落しました。長期金利は、日銀の第3次政策金利引き上げ観測を背景に、夏前に一時2%近くまで上昇しましたが、8月以降サブプライム問題による金融市場の動揺から「質への逃避」の動きが強まり、米国連邦準備制度理事会が利下げに転じる中、一時1.5%台まで低下しました。為替レートは、昨年からの内外金利差を背景に円安が進みましたが、夏以降、金融市場における信用不安拡大を契機に円高傾向に転じました。

##### （経営方針）

上記のような状況のなかにあつて、当行は中期政策方針及び投融資指針に基づいて、地域再生支援（地域経済振興、地域社会基盤整備、広域ネットワーク整備）、環境対策・生活基盤（環境・エネルギー・防災・福祉対策）、技術・経済活力創造（先端技術・経済活性化、経済社会基盤整備）、社会資本整備促進に対して投融資を行いました。

##### （業績）

当中間連結会計期間の業績につきましては、次のとおりとなりました。

資産の部につきましては、前連結会計年度末比1,602億円減少し12兆9,186億円となりました。このうち貸出金は3,319億円減少し11兆7,578億円、有価証券は650億円増加し4,859億円となりました。負債の部につきましては、前連結会計年度末比2,183億円減少し10兆8,748億円となりました。このうち、債券は2,801億円増加し2兆9,517億円、借入金は2,860億円減少し7兆6,378億円となりました。また、純資産の部につきましては、2兆437億円となりました。

損益の状況につきましては、経常収益は前中間連結会計期間比104億円減少し1,668億円となる一方、経常費用が126億円減少し1,271億円となったため、経常利益は、前中間連結会計期間比21億円増加し396億円となりました。これに、特別損益等を加味した結果、中間純利益は、前中間連結会計期間比448億円減少し531億円となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間比160億円支出が増加し112億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間比102億円支出が減少し60億円の支出となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間比13億円支出が増加し13億円の支出となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前中間連結会計期間末比11億円増加し401億円となりました。

(1) 国内・海外別収支

当中間連結会計期間の資金運用収支は42億円増加し520億円、役務取引等収支は1億円増加し19億円、その他業務収支は46億円減少し△50億円となりました。

| 種類        | 期別        | 国内       | 海外       | 相殺消去額(△) | 合計       |
|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|
|           |           | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) |
| 資金運用収支    | 前中間連結会計期間 | 47,882   | —        | —        | 47,882   |
|           | 当中間連結会計期間 | 52,089   | —        | —        | 52,089   |
| うち資金運用収益  | 前中間連結会計期間 | 165,933  | —        | —        | 165,933  |
|           | 当中間連結会計期間 | 155,431  | —        | —        | 155,431  |
| うち資金調達費用  | 前中間連結会計期間 | 118,050  | —        | —        | 118,050  |
|           | 当中間連結会計期間 | 103,341  | —        | —        | 103,341  |
| 役務取引等収支   | 前中間連結会計期間 | 1,814    | —        | —        | 1,814    |
|           | 当中間連結会計期間 | 1,926    | —        | —        | 1,926    |
| うち役務取引等収益 | 前中間連結会計期間 | 1,842    | —        | —        | 1,842    |
|           | 当中間連結会計期間 | 1,937    | —        | —        | 1,937    |
| うち役務取引等費用 | 前中間連結会計期間 | 28       | —        | —        | 28       |
|           | 当中間連結会計期間 | 11       | —        | —        | 11       |
| その他業務収支   | 前中間連結会計期間 | △486     | —        | —        | △486     |
|           | 当中間連結会計期間 | △5,087   | —        | —        | △5,087   |
| うちその他業務収益 | 前中間連結会計期間 | 210      | —        | —        | 210      |
|           | 当中間連結会計期間 | 12       | —        | —        | 12       |
| うちその他業務費用 | 前中間連結会計期間 | 696      | —        | —        | 696      |
|           | 当中間連結会計期間 | 5,100    | —        | —        | 5,100    |

(注) 1. 「国内」とは、当行（海外店を除く）及び国内に本店を有する連結子会社（以下「国内連結子会社」という。）であります。

2. 「海外」とは、当行の海外店及び海外に本店を有する連結子会社（以下「海外連結子会社」という。）ですが、当行には、海外店及び海外連結子会社はありません。

(2) 国内・海外別資金運用／調達状況

当中間連結会計期間の資金運用勘定は、平均残高が貸出金を中心に5,512億円減少し12兆7,198億円、利回りが0.06ポイント低下し2.44%となりました。一方、資金調達勘定は、平均残高が4,603億円減少し10兆6,775億円、利回りが0.19ポイント低下し1.93%となりました。

①国内

| 種類       | 期別        | 平均残高       | 利息      | 利回   |
|----------|-----------|------------|---------|------|
|          |           | 金額（百万円）    | 金額（百万円） | (%)  |
| 資金運用勘定   | 前中間連結会計期間 | 13,271,063 | 165,933 | 2.50 |
|          | 当中間連結会計期間 | 12,719,807 | 155,431 | 2.44 |
| うち貸出金    | 前中間連結会計期間 | 12,674,218 | 164,482 | 2.59 |
|          | 当中間連結会計期間 | 12,076,827 | 152,342 | 2.52 |
| うち有価証券   | 前中間連結会計期間 | 580,911    | 1,427   | 0.49 |
|          | 当中間連結会計期間 | 556,300    | 2,778   | 0.99 |
| うち預け金    | 前中間連結会計期間 | 15,934     | 9       | 0.11 |
|          | 当中間連結会計期間 | 86,680     | 252     | 0.58 |
| 資金調達勘定   | 前中間連結会計期間 | 11,137,858 | 118,050 | 2.12 |
|          | 当中間連結会計期間 | 10,677,522 | 103,341 | 1.93 |
| うちコールマネー | 前中間連結会計期間 | —          | —       | —    |
|          | 当中間連結会計期間 | —          | —       | —    |
| うち債券     | 前中間連結会計期間 | 2,311,135  | 15,984  | 1.38 |
|          | 当中間連結会計期間 | 2,856,609  | 21,164  | 1.48 |
| うち借入金    | 前中間連結会計期間 | 8,824,664  | 90,988  | 2.06 |
|          | 当中間連結会計期間 | 7,818,857  | 74,182  | 1.89 |

- (注) 1. 平均残高は、原則として日々の残高の平均に基づいて算出しておりますが、国内連結子会社については、半年毎の残高に基づく平均残高を利用しております。
2. 「国内」とは、当行（海外店を除く）及び国内連結子会社であります。
3. 有価証券には、投資事業有限責任組合又はそれに類する組合への出資で金融商品取引法第2条第2項（旧証券取引法第2条第2項）により有価証券とみなされるものは含めておりません。
4. 買現先勘定は有価証券に含めております。

②海外

| 種類       | 期別        | 平均残高    | 利息      | 利回  |
|----------|-----------|---------|---------|-----|
|          |           | 金額（百万円） | 金額（百万円） | （%） |
| 資金運用勘定   | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
|          | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
| うち貸出金    | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
|          | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
| うち有価証券   | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
|          | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
| うち預け金    | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
|          | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
| 資金調達勘定   | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
|          | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
| うちコールマネー | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
|          | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
| うち債券     | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
|          | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
| うち借入金    | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —   |
|          | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —   |

（注）「海外」とは、当行の海外店及び海外連結子会社であります。当行には、海外店及び海外連結子会社はありません。

## ③合計

| 種類       | 期別        | 平均残高       | 利息      | 利回   |
|----------|-----------|------------|---------|------|
|          |           | 金額（百万円）    | 金額（百万円） | (%)  |
| 資金運用勘定   | 前中間連結会計期間 | 13,271,063 | 165,933 | 2.50 |
|          | 当中間連結会計期間 | 12,719,807 | 155,431 | 2.44 |
| うち貸出金    | 前中間連結会計期間 | 12,674,218 | 164,482 | 2.59 |
|          | 当中間連結会計期間 | 12,076,827 | 152,342 | 2.52 |
| うち有価証券   | 前中間連結会計期間 | 580,911    | 1,427   | 0.49 |
|          | 当中間連結会計期間 | 556,300    | 2,778   | 0.99 |
| うち預け金    | 前中間連結会計期間 | 15,934     | 9       | 0.11 |
|          | 当中間連結会計期間 | 86,680     | 252     | 0.58 |
| 資金調達勘定   | 前中間連結会計期間 | 11,137,858 | 118,050 | 2.12 |
|          | 当中間連結会計期間 | 10,677,522 | 103,341 | 1.93 |
| うちコールマネー | 前中間連結会計期間 | —          | —       | —    |
|          | 当中間連結会計期間 | —          | —       | —    |
| うち債券     | 前中間連結会計期間 | 2,311,135  | 15,984  | 1.38 |
|          | 当中間連結会計期間 | 2,856,609  | 21,164  | 1.48 |
| うち借入金    | 前中間連結会計期間 | 8,824,664  | 90,988  | 2.06 |
|          | 当中間連結会計期間 | 7,818,857  | 74,182  | 1.89 |

(3) 国内・海外別役務取引の状況

| 種類      | 期別        | 国内       | 海外       | 相殺消去(△)  | 合計       |
|---------|-----------|----------|----------|----------|----------|
|         |           | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) |
| 役務取引等収益 | 前中間連結会計期間 | 1,842    | —        | —        | 1,842    |
|         | 当中間連結会計期間 | 1,937    | —        | —        | 1,937    |
| うち貸出業務  | 前中間連結会計期間 | 767      | —        | —        | 767      |
|         | 当中間連結会計期間 | 1,362    | —        | —        | 1,362    |
| うち保証業務  | 前中間連結会計期間 | 228      | —        | —        | 228      |
|         | 当中間連結会計期間 | 380      | —        | —        | 380      |
| 役務取引等費用 | 前中間連結会計期間 | 28       | —        | —        | 28       |
|         | 当中間連結会計期間 | 11       | —        | —        | 11       |

(注) 1. 「国内」とは、当行（海外店を除く）及び国内連結子会社であります。

2. 「海外」とは、当行の海外店及び海外連結子会社であります。当行には、海外店及び海外連結子会社はありません。

(4) 国内・海外別預金残高の状況

該当ありません。

(5) 国内・海外別貸出金残高の状況

①業種別貸出状況（残高・構成比）

| 業種別               | 平成18年 9 月30日 |        | 平成19年 9 月30日 |        |
|-------------------|--------------|--------|--------------|--------|
|                   | 貸出金残高（百万円）   | 構成比（％） | 貸出金残高（百万円）   | 構成比（％） |
| 国内（除く特別国際金融取引勘定分） | 12,447,978   | 100.0  | 11,757,813   | 100.0  |
| 製造業               | 2,333,667    | 18.7   | 2,226,655    | 19.0   |
| 農業                | 336          | 0.0    | 256          | 0.0    |
| 林業                | 1,199        | 0.0    | 1,092        | 0.0    |
| 漁業                | 157          | 0.0    | 123          | 0.0    |
| 鉱業                | 27,213       | 0.2    | 26,442       | 0.2    |
| 建設業               | 19,899       | 0.2    | 16,815       | 0.1    |
| 電気・ガス・熱供給・水道業     | 2,683,713    | 21.6   | 2,387,698    | 20.3   |
| 情報通信業             | 915,857      | 7.4    | 846,494      | 7.2    |
| 運輸業               | 3,839,010    | 30.8   | 3,619,550    | 30.8   |
| 卸売・小売業            | 546,513      | 4.4    | 535,449      | 4.6    |
| 金融・保険業            | 219,651      | 1.8    | 224,753      | 1.9    |
| 不動産業              | 1,258,493    | 10.1   | 1,255,458    | 10.7   |
| 各種サービス業           | 600,520      | 4.8    | 615,337      | 5.2    |
| 地方公共団体            | 1,743        | 0.0    | 1,685        | 0.0    |
| その他               | —            | —      | —            | —      |
| 海外及び特別国際金融取引勘定分   | —            | —      | —            | —      |
| 政府等               | —            | —      | —            | —      |
| 金融機関              | —            | —      | —            | —      |
| その他               | —            | —      | —            | —      |
| 合計                | 12,447,978   | —      | 11,757,813   | —      |

（注） 1. 「国内」とは、当行及び国内連結子会社であります。

2. 「海外」とは、当行の海外店及び海外連結子会社であります。当行には、海外店及び海外連結子会社はありません。

②外国政府等向け債権残高（国別）

該当ありません。

(6) 国内・海外別有価証券の状況

○ 有価証券残高（末残）

| 種類     | 期別        | 国内      | 海外      | 相殺消去(△) | 合計      |
|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|
|        |           | 金額（百万円） | 金額（百万円） | 金額（百万円） | 金額（百万円） |
| 国債     | 前中間連結会計期間 | 180,584 | —       | —       | 180,584 |
|        | 当中間連結会計期間 | 120,899 | —       | —       | 120,899 |
| 地方債    | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —       | —       |
|        | 当中間連結会計期間 | —       | —       | —       | —       |
| 短期社債   | 前中間連結会計期間 | —       | —       | —       | —       |
|        | 当中間連結会計期間 | 2,499   | —       | —       | 2,499   |
| 社債     | 前中間連結会計期間 | 61,784  | —       | —       | 61,784  |
|        | 当中間連結会計期間 | 72,498  | —       | —       | 72,498  |
| 株式     | 前中間連結会計期間 | 167,122 | —       | —       | 167,122 |
|        | 当中間連結会計期間 | 181,136 | —       | —       | 181,136 |
| その他の証券 | 前中間連結会計期間 | 65,968  | —       | —       | 65,968  |
|        | 当中間連結会計期間 | 108,919 | —       | —       | 108,919 |
| 合計     | 前中間連結会計期間 | 475,460 | —       | —       | 475,460 |
|        | 当中間連結会計期間 | 485,952 | —       | —       | 485,952 |

(注) 1. 「国内」とは、当行及び国内連結子会社であります。

2. 「海外」とは、当行の海外店及び海外連結子会社であります。当行には、海外店及び海外連結子会社はありません。

3. 「その他の証券」には、投資事業有限責任組合又はそれに類する組合への出資で金融商品取引法第2条第2項（旧証券取引法第2条第2項）により有価証券とみなされるものを含んでおります。

(単体情報)

(参考) 当行の単体情報のうち、参考として以下の情報を掲げております。

1. 損益の概要 (単体)

|                          | 前中間会計期間<br>(百万円) (A) | 当中間会計期間<br>(百万円) (B) | 増減 (百万円)<br>(B) - (A) |
|--------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| 業務粗利益                    | 48,593               | 49,272               | 679                   |
| 経費 (除く臨時処理分)             | △12,664              | △13,045              | △381                  |
| 人件費                      | △8,095               | △8,388               | △293                  |
| 物件費                      | △3,844               | △3,914               | △70                   |
| 税金                       | △724                 | △741                 | △17                   |
| 業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前) | 35,928               | 36,226               | 298                   |
| のれん償却額                   | —                    | —                    | —                     |
| 業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)        | 35,928               | 36,226               | 298                   |
| 一般貸倒引当金繰入額               | —                    | △16,484              | △16,484               |
| 業務純益                     | 35,928               | 19,742               | △16,186               |
| うち債券関係損益                 | —                    | —                    | —                     |
| 臨時損益                     | 746                  | 14,970               | 14,224                |
| 株式関係損益                   | △1,576               | △7,792               | △6,216                |
| 不良債権処理損失                 | △3,484               | 16,068               | 19,552                |
| 貸出金償却                    | △3,484               | △307                 | 3,177                 |
| 個別貸倒引当金繰入額               | —                    | 16,405               | 16,405                |
| その他の債権売却損等               | —                    | △28                  | △28                   |
| その他臨時損益                  | 5,807                | 6,694                | 887                   |
| 経常利益                     | 36,674               | 34,712               | △1,962                |
| 特別損益                     | 60,866               | 13,246               | △47,620               |
| うち償却債権取立益                | 969                  | 529                  | △440                  |
| うち貸倒引当金戻入益               | 59,898               | —                    | △59,898               |
| 中間純利益                    | 97,541               | 47,959               | △49,582               |

(注) 1. 業務粗利益＝資金運用収支＋役務取引等収支＋その他業務収支

2. 業務純益＝業務粗利益－経費 (除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

3. 臨時損益とは、損益計算書中「その他経常収益・費用」から一般貸倒引当金繰入額を除いたものであります。

4. 債券関係損益＝国債等債券売却益 (＋国債等債券償還益)－国債等債券売却損 (－国債等債券償還損)－国債等債券償却

5. 株式関係損益＝株式等売却益＋株式等償還益＋投資損失引当金戻入益－株式等売却損－株式等償却－投資損失引当金繰入額

## 2. 利鞘（単体）

|               | 前中間会計期間<br>(%) (A) | 当中間会計期間<br>(%) (B) | 増減 (%)<br>(B) - (A) |
|---------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| (1) 資金運用利回 ①  | 2.48               | 2.43               | △0.05               |
| (イ) 貸出金利回     | 2.57               | 2.51               | △0.06               |
| (ロ) 有価証券利回    | 0.39               | 0.83               | 0.44                |
| (2) 資金調達原価 ②  | 2.35               | 2.21               | △0.14               |
| (イ) 預金等利回     | —                  | —                  | —                   |
| (ロ) 外部負債利回    | 2.12               | 1.97               | △0.15               |
| (3) 総資金利鞘 ①－② | 0.13               | 0.22               | 0.09                |

（注）「外部負債」とは債券＋借入金であります。

## 3. ROE（単体）

|                                | 前中間会計期間<br>(%) (A) | 当中間会計期間<br>(%) (B) | 増減 (%)<br>(B) - (A) |
|--------------------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| 業務純益ベース<br>(一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前) | 3.73               | 3.59               | △0.14               |
| 業務純益ベース<br>(一般貸倒引当金繰入前)        | 3.73               | 3.59               | △0.14               |
| 業務純益ベース                        | 3.73               | 1.95               | △1.78               |
| 中間純利益ベース                       | 10.15              | 4.75               | △5.40               |

## 4. 預金・貸出金の状況（単体）

○ 預金・貸出金の残高

|         | 前中間会計期間<br>(百万円) (A) | 当中間会計期間<br>(百万円) (B) | 増減 (百万円)<br>(B) - (A) |
|---------|----------------------|----------------------|-----------------------|
| 預金（末残）  | —                    | —                    | —                     |
| 預金（平残）  | —                    | —                    | —                     |
| 貸出金（末残） | 12,485,427           | 11,800,263           | △685,164              |
| 貸出金（平残） | 12,711,667           | 12,119,276           | △592,391              |

## 5. 債務の保証（支払承諾）の状況（単体）

○ 支払承諾の残高内訳

| 種類  | 前中間会計期間 |         | 当中間会計期間 |         |
|-----|---------|---------|---------|---------|
|     | 口数（件）   | 金額（百万円） | 口数（件）   | 金額（百万円） |
| 保 証 | 64      | 226,676 | 55      | 123,895 |

(参考2)

自己資本比率の状況

自己資本比率は、平成19年3月31日から、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号。以下、「告示」という。）に定められた算式に基づき、連結ベースと単体ベースの双方について算出しております。なお、平成18年9月30日は銀行法第14条の2の規定に基づき自己資本比率の基準を定める件（平成5年大蔵省告示第55号。以下、「旧告示」という）に定められた算式に基づき、連結ベースと単体ベースの双方について算出しております。

なお、当行は、国際統一基準を適用のうえ、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスクにおいて基礎的手法を採用しております。また、当行はマーケット・リスクを導入しておりません。

連結自己資本比率（国際統一基準）

| 項目                         |                                | 平成18年9月30日 | 平成19年9月30日 |
|----------------------------|--------------------------------|------------|------------|
|                            |                                | 金額（百万円）    | 金額（百万円）    |
| 基本的項目<br>(Tier 1)          | 資本金                            | 1,272,286  | 1,272,286  |
|                            | うち非累積的永久優先株                    | —          | —          |
|                            | 新株式申込証拠金                       | —          | —          |
|                            | 資本剰余金                          | —          | —          |
|                            | 利益剰余金                          | 832,706    | 860,595    |
|                            | 連結子会社等の少数株主持分                  | 4,342      | 3,997      |
|                            | うち海外特別目的会社の発行する優先出資証券          | —          | —          |
|                            | 自己株式（△）                        | —          | —          |
|                            | 自己株式申込証拠金                      | —          | —          |
|                            | 社外流出予定額（△）                     | —          | —          |
|                            | その他有価証券の評価差損（△）                | △328       | —          |
|                            | 為替換算調整勘定                       | —          | —          |
|                            | 新株予約権                          | —          | —          |
|                            | 営業権相当額（△）                      | —          | —          |
|                            | のれん相当額（△）                      | —          | —          |
|                            | 企業結合等により計上される無形固定資産相当額（△）      | —          | —          |
|                            | 連結調整勘定相当額（△）                   | —          | —          |
|                            | 証券化取引に伴い増加した自己資本相当額（△）         | —          | —          |
|                            | 繰延税金資産の控除前の〔基本的項目〕計（上記各項目の合計額） | 2,109,006  | 2,136,878  |
|                            | 繰延税金資産の控除金額（△）                 | —          | —          |
| 計 (A)                      |                                | 2,109,006  | 2,136,878  |
| うちステップ・アップ金利条項付の優先出資証券（注1） |                                | —          | —          |

|                                  |                                            |            |            |
|----------------------------------|--------------------------------------------|------------|------------|
| 補完的項目<br>(Tier 2)                | その他有価証券の連結貸借対照表計上額の合計額から帳簿価額の合計額を控除した額の45% | 2,702      | 7,863      |
|                                  | 土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額              | —          | —          |
|                                  | 一般貸倒引当金                                    | 70,887     | 113,469    |
|                                  | 負債性資本調達手段等                                 | —          | —          |
|                                  | うち永久劣後債務(注2)                               | —          | —          |
|                                  | うち期限付劣後債務及び期限付優先株(注3)                      | —          | —          |
|                                  | 計                                          | 73,589     | 121,333    |
|                                  | うち自己資本への算入額 (B)                            | 73,589     | 121,333    |
| 控除項目                             | 控除項目 (注4) (C)                              | —          | 92,041     |
| 自己資本額                            | (A) + (B) - (C) (D)                        | 2,182,596  | 2,166,171  |
| リスク・アセット等                        | 資産(オン・バランス)項目                              | 12,626,916 | 9,249,501  |
|                                  | オフ・バランス取引等項目                               | 495,844    | 1,132,365  |
|                                  | 信用リスク・アセットの額 (E)                           | 13,122,760 | 10,381,866 |
|                                  | オペレーショナル・リスク相当額に係る額 ((G)/8%) (F)           | —          | 183,569    |
|                                  | (参考) オペレーショナル・リスク相当額 (G)                   | —          | 14,685     |
|                                  | ※計 ((E) + (F)) (H)                         | 13,122,760 | 10,565,436 |
| 連結自己資本比率(国際統一基準) = D/H × 100 (%) |                                            | 16.63      | 20.50      |
| (参考) Tier 1 比率 = A/H × 100 (%)   |                                            | 16.07      | 20.23      |

- (注) 1. 告示第5条第2項(旧告示第4条第2項)に掲げるもの、すなわち、ステップ・アップ金利等の特約を付すなど償還を行う蓋然性を有する株式等(海外特別目的会社の発行する優先出資証券を含む。)であります。
2. 告示第6条第1項第4号(旧告示第5条第1項第4号)に掲げる負債性資本調達手段で次に掲げる性質のすべてを有するものであります。
- (1) 無担保で、かつ、他の債務に劣後する払込済のものであること
  - (2) 一定の場合を除き、償還されないものであること
  - (3) 業務を継続しながら損失の補てんに充当されるものであること
  - (4) 利払い義務の延期が認められるものであること
3. 告示第6条第1項第5号及び第6号(旧告示第5条第1項第5号及び第6号)に掲げるものであります。ただし、期限付劣後債務は契約時における償還期間が5年を超えるものに限られております。
4. 告示第8条第1項第1号から第6号(旧告示第7条第1項)に掲げるものであり、他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額、及び第2号(旧告示第7条第1項第2号)に規定するものに対する投資に相当する額が含まれております。

単体自己資本比率（国際統一基準）

| 項目                |                                          | 平成18年 9 月30日 | 平成19年 9 月30日 |
|-------------------|------------------------------------------|--------------|--------------|
|                   |                                          | 金額（百万円）      | 金額（百万円）      |
| 基本的項目<br>(Tier 1) | 資本金                                      | 1, 272, 286  | 1, 272, 286  |
|                   | うち非累積的永久優先株                              | —            | —            |
|                   | 新株式申込証拠金                                 | —            | —            |
|                   | その他資本剰余金                                 | —            | —            |
|                   | 準備金                                      | 1, 076, 594  | —            |
|                   | その他利益剰余金                                 | △244, 055    | 855, 622     |
|                   | その他                                      | —            | —            |
|                   | 自己株式（△）                                  | —            | —            |
|                   | 自己株式申込証拠金                                | —            | —            |
|                   | 社外流出予定額（△）                               | —            | —            |
|                   | その他有価証券の評価差損（△）                          | △328         | —            |
|                   | 新株予約権                                    | —            | —            |
|                   | 営業権相当額（△）                                | —            | —            |
|                   | のれん相当額（△）                                | —            | —            |
|                   | 企業結合により計上される無形固定資産相当額（△）                 | —            | —            |
|                   | 証券化取引に伴い増加した自己資本相当額（△）                   | —            | —            |
|                   | 繰延税金資産の控除前の〔基本的項目〕計（上記各項目の合計額）           | 2, 104, 496  | 2, 127, 908  |
|                   | 繰延税金資産の控除金額（△）                           | —            | —            |
|                   | 計 (A)                                    | 2, 104, 496  | 2, 127, 908  |
|                   | うちステップ・アップ金利条項付の優先出資証券（注1）               | —            | —            |
| 補完的項目<br>(Tier 2) | その他有価証券の貸借対照表計上額の合計額から帳簿価額の合計額を控除した額の45% | 2, 678       | 10, 479      |
|                   | 土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額            | —            | —            |
|                   | 一般貸倒引当金                                  | 70, 915      | 113, 563     |
|                   | 負債性資本調達手段等                               | —            | —            |
|                   | うち永久劣後債務（注2）                             | —            | —            |
|                   | うち期限付劣後債務及び期限付優先株（注3）                    | —            | —            |
|                   | 計                                        | 73, 594      | 124, 042     |
|                   | うち自己資本への算入額 (B)                          | 73, 594      | 124, 042     |
| 控除項目              | 控除項目（注4） (C)                             | —            | 92, 041      |
| 自己資本額             | (A) + (B) - (C) (D)                      | 2, 178, 090  | 2, 159, 910  |

|                              |                                  |            |            |
|------------------------------|----------------------------------|------------|------------|
| リスク・アセット等                    | 資産（オン・バランス）項目                    | 12,607,984 | 9,247,164  |
|                              | オフ・バランス取引等項目                     | 498,844    | 1,323,701  |
|                              | 信用リスク・アセットの額 (E)                 | 13,106,828 | 10,570,865 |
|                              | オペレーショナル・リスク相当額に係る額 ((G)/8%) (F) | —          | 183,718    |
|                              | (参考) オペレーショナル・リスク相当額 (G)         | —          | 14,697     |
|                              | 計 ((E)+(F)) (H)                  | 13,106,828 | 10,754,584 |
| 単体自己資本比率（国際統一基準）= D/H×100（%） |                                  | 16.61      | 20.08      |
| （参考）Tier 1 比率 = A/H×100（%）   |                                  | 16.06      | 19.79      |

- （注） 1. 告示第 17 条第 2 項（旧告示第 14 条第 2 項）に掲げるもの、すなわち、ステップ・アップ金利等の特約を付すなど償還を行う蓋然性を有する株式等（海外特別目的会社の発行する優先出資証券を含む。）であります。
2. 告示第 18 条第 1 項第 4 号（旧告示第 15 条第 1 項第 4 号）に掲げる負債性資本調達手段で次に掲げる性質のすべてを有するものであります。
- （1）無担保で、かつ、他の債務に劣後する払込済のものであること
  - （2）一定の場合を除き、償還されないものであること
  - （3）業務を継続しながら損失の補てんに充当されるものであること
  - （4）利払い義務の延期が認められるものであること
3. 告示第 18 条第 1 項第 5 号及び第 6 号（旧告示第 15 条第 1 項第 5 号及び第 6 号）に掲げるものであります。ただし、期限付劣後債務は契約時における償還期間が 5 年を超えるものに限られております。
4. 告示第 20 条第 1 項第 1 号から第 5 号（旧告示第 17 条第 1 項）に掲げるものであり、他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額が含まれております。

(資産の査定)

(参考)

当行は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)の対象ではありませんが、金融庁の「金融検査マニュアル」等に準拠した「自己査定基準」に則り、債務者区分及び資産分類を実施しております。

格付及び資産自己査定の実施にあたっては、投融資部門から独立した審査部がこれを決定し、経営会議に報告しております。

○ 金融再生法開示債権の状況(単体)

資産の査定は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、当行の中間貸借対照表の社債(当該社債を有する金融機関がその元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第2条第3項に規定する有価証券の私募によるものに限る。)、貸出金、外国為替、その他資産中の未収利息及び仮払金、支払承諾見返の各勘定に計上されるもの並びに中間貸借対照表に注記することとされている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)について債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次のとおり区分するものであります。

1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいう。

2. 危険債権

危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいう。

3. 要管理債権

要管理債権とは、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権をいう。

4. 正常債権

正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいう。

資産の査定の額

| 債権の区分             | 平成18年9月30日 | 平成19年9月30日 |
|-------------------|------------|------------|
|                   | 金額(億円)     | 金額(億円)     |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 171        | 29         |
| 危険債権              | 788        | 521        |
| 要管理債権             | 793        | 700        |
| 正常債権              | 125,891    | 118,615    |

○ 与信関係費用

当中間会計期間の与信関係費用は、取引先の業況改善の一段落等により一般貸倒引当金の繰入額が増加した結果、全体では8億円の利益計上となりました。

(単位：億円)

|            | 前中間会計期間<br>(A) | 当中間会計期間<br>(B) | 増減<br>(B) - (A) |
|------------|----------------|----------------|-----------------|
| 個別貸倒引当金繰入額 | △106           | △164           | △57             |
| 貸出金償却      | 34             | 3              | △31             |
| その他        | △9             | △11            | △2              |
| 小計         | △81            | △172           | △91             |
| 一般貸倒引当金繰入額 | △492           | 164            | 657             |
| 与信関係費用総額   | △573           | △8             | 565             |

## 2【生産、受注及び販売の状況】

生産、受注及び販売の状況は、当行における業務の特殊性のため、該当する情報がないので記載しておりません。

## 3【対処すべき課題】

当行は、平成17年3月31日に主務大臣により作成された中期政策方針（第7期～第9期）に基づき業務運営を行っております。当行の業務運営に関する基本的な考え方として、①政策要請に対する適切かつ機動的な対応を旨とし、地域再生、環境対策や生活基盤の充実、技術振興等を推進し、もって経済社会の活力の向上及び持続的発展、豊かな国民生活の実現並びに地域経済の自立的発展に寄与すること、②業務運営に当たっては、国の経済運営に関する諸方針を踏まえるとともに、特殊法人等合理化計画や経済財政諮問会議の議論等に沿って民業補完に徹した事業見直しを行なうことを求められています。

当行は「行政改革の重要方針」（平成17年12月24日閣議決定）において、機能および組織を一体として維持しつつ、民営化されることが決定されました。これを受けて、「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」が平成18年5月26日に成立しました。同法律では、政府は当行の完全民営化に当たって、円滑な運営に必要な財政基盤を確保するための措置を講ずるとともに、当行の有する長期の事業資金に係る投融資機能の根幹が維持されることとなるよう、必要な措置を講ずることが定められました。

こうした趣旨を踏まえ、株式会社日本政策投資銀行法が平成19年6月6日に成立しました。同法律では、当行が完全民営化へ円滑に移行できるよう、資金調達基盤を確保するために必要な措置や当行の有する長期の事業資金に係る投融資機能の根幹が維持されるために必要な措置を政府が講ずること等が定められています。

今後は、同法律に基づき適切な経営計画・ビジネスモデルを検討することが最重要の課題と認識しています。

## 4【経営上の重要な契約等】

該当ありません。

## 5【研究開発活動】

該当ありません。

### 第3 【設備の状況】

#### 1 【主要な設備の状況】

当中間連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

#### 2 【設備の新設、除却等の計画】

当中間連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

該当ありません。

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当ありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当ありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の状況】

| 年月日                              | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|----------------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成19年4月<br>1日～<br>平成19年9月<br>30日 | —                     | —                    | —               | 1,272,286      | —                     | —                    |

#### (5) 【大株主の状況】

該当ありません。

#### (6) 【議決権の状況】

該当ありません。

### 2 【株価の推移】

該当ありません。

### 3【役員の状況】

前事業年度の債券報告書の公表日以後、当半期債券報告書の公表日までの役員の異動は、次のとおりであります。

#### (1) 新任役員

| 役職  | 氏名      | 生年月日             | 略歴                                                                                                                          | 任期               | 所有株式数<br>(千株) | 就任年月日          |
|-----|---------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------|----------------|
| 総裁  | 室 伏 稔   | 昭和6年9月<br>22日生   | 昭和31年4月 伊藤忠商事(株)入社<br>平成2年6月 代表取締役社長<br>8年6月 代表取締役会長兼<br>社長<br>10年4月 代表取締役会長<br>12年6月 取締役会長<br>16年6月 相談役<br>19年10月 当行総裁(現職) | 平成19年10<br>月から1年 | —             | 平成19年<br>10月1日 |
| 副総裁 | 藤 井 秀 人 | 昭和22年12月<br>13日生 | 昭和46年4月 大蔵省入省<br>平成18年7月 財務事務次官<br>19年10月 当行副総裁(現職)                                                                         | 平成19年10<br>月から1年 | —             | 平成19年<br>10月1日 |
| 理事  | 平田 憲一郎  | 昭和25年11月<br>7日生  | 昭和49年4月 運輸省入省<br>平成18年7月 国土交通省鉄道局<br>長<br>19年10月 当行理事(現職)                                                                   | 平成19年10<br>月から1年 | —             | 平成19年<br>10月1日 |
| 理事  | 小 島 康 壽 | 昭和28年2月<br>14日生  | 昭和50年4月 通商産業省入省<br>平成18年7月 経済産業省産業技<br>術環境局長<br>19年10月 当行理事(現職)                                                             | 平成19年10<br>月から1年 | —             | 平成19年<br>10月1日 |

#### (2) 退任役員

| 役 職 | 氏 名<br>(生年月日)            | 退任年月日      |
|-----|--------------------------|------------|
| 総 裁 | 小 村 武<br>(昭和14年9月2日生)    | 平成19年9月30日 |
| 副総裁 | 山 口 公 生<br>(昭和19年8月20日生) | 平成19年9月30日 |
| 理 事 | 深 谷 憲 一<br>(昭和22年5月29日生) | 平成19年9月30日 |
| 理 事 | 大 井 篤<br>(昭和24年1月14日生)   | 平成19年9月30日 |

#### (3) 役職の異動

該当ありません。